

第9回常任理事会会議録

日時 平成21年1月16日(金) 午前11時～午後0時30分
場所 日本歯科医師会 701・702 会議室
出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、高木忠雄、佐藤田鶴子、
平井敏博、恵比須繁之、後藤滋巳、宮崎 隆、
栗原英見、荒木孝二
 日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <常任理事> 土屋友幸、江里口彰

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告(平成20年12月12日～平成21年1月15日)
- 第8回常任理事会会議録(平成20年12月12日開催)

2) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会計収支決算書(平成20年4月1日～同12月31日)
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算書
(平成20年4月1日～同12月31日)

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

○石井拓男・日歯総研研究部長より、厚生労働科学研究「歯科分野にお

ける診療ガイドラインへの取組の現状と動向」について、本学会の臨床系専門分科会及び認定分科会を対象にしたアンケート調査を実施する旨、資料に基づき報告がなされた。

・江藤会長より、今後、臨床家向け診療ガイドライン作成にあたっては、同アンケート調査の結果を参考にしていきたいと説明。

○井出副会長より、日本歯科麻酔学会より「静脈内沈静法ガイドライン」が、日本歯周病学会より「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン」の原案がそれぞれ、本学会宛に提出があった旨報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

▶専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて

住友総務理事より、本学会認定分科会へ新規登録申請のあった8学会の資格審査結果について、諮問委員会である専門分科会資格審査委員会の答申書に基づき諮られた。

協議の結果、同委員会内で十分な資格審査に付されたことを確認、次回理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に要旨、下記の内容

とする議案を上程することとした。

なお、日本再生歯科医学会については、同委員会より登録を否とする旨答申されたことにより、次回理事会で協議の上、登録否と決定することを確認した。

【登録を可とする学会】

- ・日本顎変形症学会
- ・日本スポーツ歯科医学会
- ・日本顎顔面補綴学会
- ・日本顎咬合学会
- ・日本磁気歯科学会
- ・日本小児口腔外科学会
- ・日本顎顔面インプラント学会

(4) 専門医制度の確立
特になし。

(5) 国際交流の推進
特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 認定分科会への登録に関する件

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として原案を承認。次回理事会で協議した上で、第81回評議員会に第1号議案として上程することとした。

(2) 日本歯科医学会規則の一部改正

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として原案を承認。次回理事会で協議した上で、第81回評議員会に第2号議案として上程することとした。

(3) 日本歯科医学会評議員選出基準の一部改正

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られた。

協議の結果、提案理由を明確にするなど原案を修正した上で、次回理事会で協議し、第81回評議員会に第3号議案として上程することとした。

・栗原常任理事より、第75回評議員会では、将来の専門分科会数の増加を想定、会務の効率化のため評議員選出基準を改正している。今般の

改正案内容は、一見してこれまでの方針と相反するものであることから、提案理由を明確にするなど、評議員、更には広く会員の理解を得られるものとすべきである、と意見があった。

・ 恵比須常任理事より、専門分科会選出評議員数の見直しが進められてきた中で、日歯選出の評議員数が増加することについて、理解を得られにくいのではないかと意見があった。

住友総務理事より、専門分科会への加入申請に係る公示が3年ごとから2年ごとへと改正されたことで、今後は専門分科会数の一層の増加が見込まれる、と説明。

高木常任理事より、学会会員は日歯会員及び専門、認定分科会会員で構成されている。各会員数を反映させた評議員数を考慮すべきではないかと意見があった。

江藤会長より、今改正は会員の権利均等の是正と臨学の連携強化を目的として整備するもので、日歯が機構改革の一環で実施した地区制改正の機会を捉え実施するものであり、会員の理解を得られるよう努めていきたい、と説明。

(4) 平成21年度事業計画について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として原案を承認。次回理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に第4号議案として上程することとした。

(5) 平成21年度学会会計収支予算について

高木常任理事より、標記について資料に基づき説明があり、協議の結果、常任理事会として原案を承認。次回理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に第5号議案として上程することとした。

(6) 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として原案を承認。次回理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に第6号議案として上程することとした。

(7) 学会第81回評議員会の開催について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

(8) 平成 21 年度日本歯科医師会生涯研修セミナーに対する協賛について
住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、
協賛することとした。

(9) (財)双日国際交流財団国際交流助成 識者推薦および推薦状について
住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、
推薦を承認した。

(10) 後援名義貸与について
住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、
名義貸与を承認した。

3) その他

次回、第 10 回常任理事会を平成 21 年 1 月 13 日 (金) 午後 2 時より開催
することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。